

公益財団法人地域開発研究所奨学金給付規程

第1章 総 則

公益財団法人地域開発研究所定款第4条第1号の規定に基づき、この規程を定める。

(奨学生の資格)

第1条 公益財団法人地域開発研究所（以下当法人という）の奨学生となる者は、青森県出身の大学、大学院及び国家資格取得を目指す為の短期大学、専門学校に在学する者で、学業・人物とも優秀でかつ健康であって、学資金の支弁が困難であると認められる者でなければならない。

(奨学生の種類)

第2条 奨学生の種類は次に掲げる者とする。

1. 大学奨学生
2. 大学院奨学生
3. 国家資格取得を目指すことを目的とする短期大学・専門学校奨学生

(奨学金の給与期間及び金額)

第3条 奨学金を給付する期間は、正規の最短修業年限とする。

- 2 前項の期間中に給与する奨学金の額は、月額金 40,000 円とする。
- 3 奨学金は、第14条の規定に該当する場合を除き、返還を要しない。

第2章 奨学生の採用及び奨学金の交付

(奨学生の申請手続き)

第4条 大学奨学生志望者及び国家資格取得を目指す為の短期大学・専門学校奨学生志望者は、次の各号に掲げる書類を、在学する高等学校或いは大学の長を経て代表理事に提出するものとする。

- (1) 奨学生願書（別紙様式第1号）
- (2) 奨学生推薦調書（別紙様式第2号 高等学校或いは大学の長）
- 2 大学院奨学生志望者は、次の各号に掲げる書類を、代表理事に提出するものとする。
 - (1) 奨学生願書（別紙様式第1号）
 - (2) 奨学生推薦調書（別紙様式第2号 大学或いは大学院の教授）

(奨学生の決定)

第5条 奨学生の採用は、理事会の選考を経て代表理事が決定する。

(決定通知及び進学届の提出)

第6条 前条の規定により奨学生が決定したときは、在学学校又は本人に対し決定通知書を発行することをもって決定者に通知する。

2 奨学生決定者は志望する学校に入学決定後、代表理事と面談をするものとする。

3 奨学生決定者は、代表理事と面談を行った後に、速やかに次の各号に掲げる書類を、当法人に提出するものとする。

(1) 奨学生台帳 (別紙様式第3号)

(2) 誓約書 (別紙様式第4号)

(3) 在学証明書

(4) 健康診断証明書

(5) 住民票 (本人)

(6) 連絡先 (在学中の本人住所及び連絡先記載の書面)

(奨学金の給付)

第7条 奨学金の給付は、当法人が指定する金融機関 (青森銀行) に設けた奨学生の預金口座に、毎月1ヵ月分ずつ振込む方法により行うものとする。
ただし、特別の事情のある者については、この限りではない。

(学業成績及び生活状況の報告)

第8条 奨学生は、毎年度末学業成績表及び生活状況の報告書 (任意書式) を代表理事宛に提出しなければならない。

(奨学生の届出義務)

第9条 奨学生は、次の各号の一つに該当する事由が生じた場合は、直ちに保護者と連署のうえで当法人に届け出なければならない。

(1) 休学、復学、転学もしくは退学したとき、又は1ヵ月以上欠席しようとするとき

(2) 停学その他の処分を受けたとき、又は刑事事件に関し起訴されたとき

(3) 本人又は保護者の住所、氏名、電話番号等を変更したとき、その他重要な事項に変更があったとき

(奨学金の給付の休止及び停止)

第10条 奨学生が休学し、又は長期にわたって欠席したときは当該期間、奨学金の給付を休止する。

2 奨学生の学業又は性行などの状況により指導上必要があると認めたときは、奨学金の給付を停止する。

(奨学金の給付の復活)

第 11 条 前条の規定により奨学金の給付を休止又は停止された者が、その事由が消滅し在学学校長を経て願い出たときは、奨学金の給付を復活することがある。

(奨学金の廃止)

第 12 条 奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を廃止する。

- (1) 退学したとき
- (2) 傷痍疾病などのために成業の見込みがなくなったとき
- (3) 学業成績又は操行が不良となったとき
- (4) 奨学金を要しない理由が生じたとき
- (5) 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき
- (6) 在学学校で処分を受け学籍を失ったとき
- (7) その他第 1 条に規定する奨学生としての資格を失ったとき

(奨学生に対する指導)

第 13 条 奨学生の資質の向上を図るため、学業及び生活に関して適切な指導を行うことができるものとする。

(奨学金の返還請求)

第 14 条 当法人は、奨学生が第 12 条の各号の一つに該当し、かつ故意による重大な違約が認められた場合は、第 3 条第 3 項の規定にかかわらず、当該期間に給付した奨学金の返還を求めることができる。

(奨学金の辞退)

第 15 条 奨学生は、いつでも奨学金の辞退を申し出ることができる。

第 3 章 補 則

(実施細則)

第 16 条 この規程の実施について必要な事項は、代表理事が別に定める。